

指定番号2 しょうがんじ 松巖寺 かんのんどう (観音堂)

所在地	鬼無里
建築年代	寛永2年(1625)
建築概要	木造平屋建、入母屋造、妻入、鉄板葺
特徴等	<p>松巖寺は鬼女紅葉の菩提所として建立された地藏院が前身と伝えられ、元和元年(1615)に創建された曹洞宗の寺院である。</p> <p>観音堂は、寛永2年(1625)の建立といわれ、堂内には本尊として聖観音が安置されている。また天保10年(1839)に和算家寺島宗伴の門弟が奉納した算額(市指定有形文化財)も掲げられている。</p> <p>観音堂は、梁間3間、桁行4間、茅葺の上を鉄板張りとした入母屋造の建物であり、四週に切目縁を廻す。外観は質素であるが、内観は若葉を彫刻する虹梁、透かし彫り極彩色の彫刻のある欄間など、江戸初期の様式を伝える装飾が随所にみられる。</p>
備考	市指定有形文化財(建造物) 指定年月日:平成17年1月1日



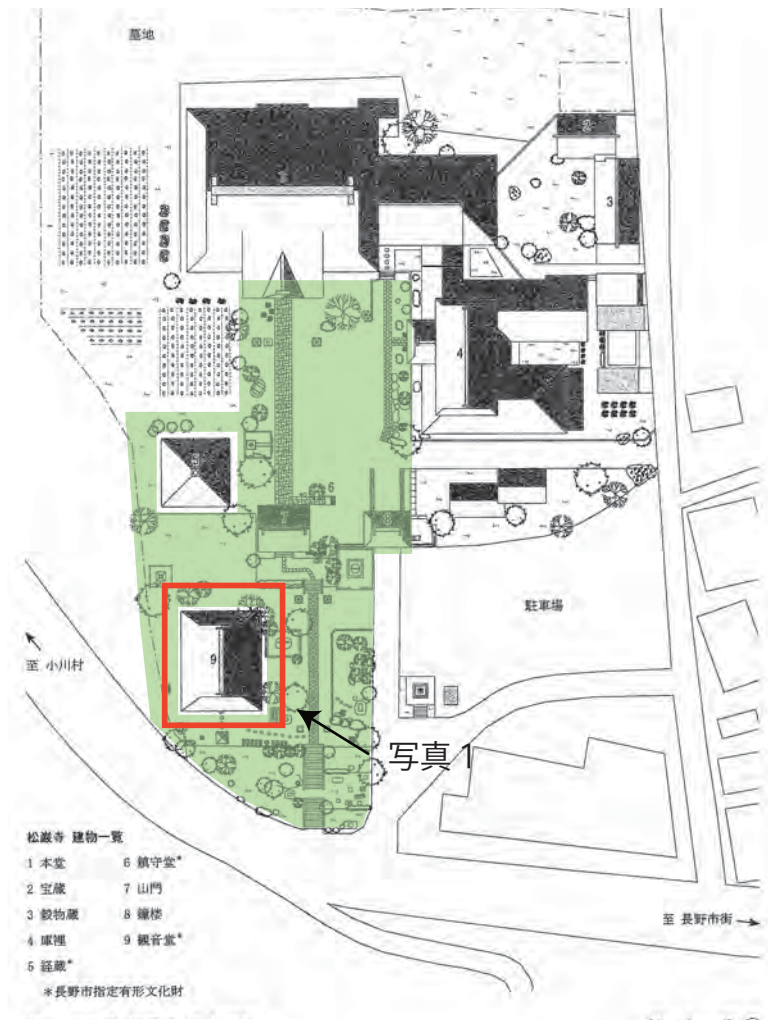
松巖寺 案内図 S=1:5,000



写真1 外観（東から）



写真2 内観



歴史的風致形成建造物指定範囲



公開範囲（午前9時から午後4時まで）

松巖寺 配置図 S=1:1,000